

相互提案型協働事業実施報告書

令和8年 4月 30日

(宛先) 座間市長

団体 住 所 座間市入谷西5-4-19(熊切方)

名 称 ざま子育て応援プロジェクト!

代表者名 代表 高澤 真奈美 

市 担当課名 こども未来部 こども家庭課

所 属 長 遠 入 徹 

次のとおり報告します。

1 事業名	子育てを健やかに行うための環境づくり事業
2 事業形態	☒ 市民活動団体提案協働事業 ☐ 市提案協働事業
3 選考年度	令和6年度選考 (令和7年度実施)
4 報告期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで
5 事業費	476,034 500,000円 (うち座間市支出分 476,000 円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	妊娠出産によって家族のライフスタイルは大きく変わります。産前からそのような情報に触れる機会を作るため、地域の子育て支援情報提供やイベントなどを開催し、産後に豊かな子育てが行える環境を作ります。 また、産後うつや産後女性の身体のマイナートラブルにより子育てが行えない状態になるなど、重要な問題となることがあります。運動療法は骨粗鬆症や産後うつ病の予防につながることを示唆されており、産前産後女性の運動療法を行える機会と相談できる場所を身近に作ります。 リアル相談の場や、子育てのヒントとなるようなホームページ「ざますく」に産前から触れる機会を作り、公助だけでなく地域のコミュニティーを広げ共助、互助の力も活用していく第一歩となるような環境を目指します。
7 添付資料	☒ 収支決算書 ☒ 事業詳細報告書 ☒ 事業記録写真 ☒ チラシなどの広報資料 ☒ 作成した冊子などの資料 ☐ その他 ()

相互提案型協働事業 評価シート

事業名	子育てを健やかに行うための環境づくり事業
-----	----------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項 目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	達成できたと考えています。	達成できました。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	妊娠期および産後に関する相談先が地域内で不足しているという課題がある中、本事業はその受け皿の一つとして機能し、課題解決に向けた具体的な一歩となりました。また、参加者の中には、行政窓口での相談をきっかけに本事業の身体ケア講座へ参加された方もおり、必要な支援へとつなぐ役割を果たしました。これにより、行政相談業務の補完および負担軽減にも寄与したと考えられます。	産前・産後の身体ケア講座を令和7年度も実施し、好評であったため3月末に親子のためのイベントを急遽開催し、妊娠から出産、子育てを通して切れ目ない支援を実施できました。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項 目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	できたと考えています。	連絡を密にとり、課題及びその解決について共有することができました。

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	できたと考えています。 年間スケジュールを組み、適時進行について相談させていただきました	進捗状況等、密に連絡を取り合い、会場や準備するもの等、適宜修正を行い、実施することができました。
対等な関係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	できたと考えています。 適宜、質問があればメールや電話で連絡させていただき、こちらの状況にも配慮しながら対応いただいたと思っております。	市ができること、できないことを率直に伝え、団体側からも意見をいただき、対等な立場で意見の交換をすることができました。
相互理解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	できたと考えています。	市民団体ならではの柔軟な意見を多数いただき、協働事業の強みを生かすことができました。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたか、などについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	（団体の役割） ●妊娠中・産後の身体ケア講座の企画・運営・予約管理・広報 ●妊娠中・産後の身体ケア BOOK の改訂・印刷 ●0歳からの子育て応援 Day in 座間の企画・運営・広報 ●0歳児保護者が必要とする情報の整理・集約・発信 ●行政職員への身体ケア講座の役割と機能についての講座準備	（市の役割） ●イベントの広報 ●場所の確保 ●アドバイス ●冊子やチラシの配布等

項 目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正であったと考えます。	適正だったと考えます。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	果たすことができたと考えます。	お互いに果たすことができたと考えます。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	できたと考えます。 広報力は私たちだけでは難しく、特に妊娠中の家庭に情報が届いたのは市の協力があったからこそだと思います。R8年3月の最後の講座では、ついに妊娠中の身体ケア講座は満席となりました。	それぞれの強みを生かすことができ、単独で実施する以上の成果を上げることができました。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	（団体の考え） 出産準備や子育てへの対応に追われる中で、妊娠期および産後の身体ケアの重要性が十分に認識されにくい状況があることから、今後は本事業を、妊娠期および産後に関する身近な相談先の一つとして位置づけ、継続的に展開していくことが望ましいと考えます。 具体的には、行政や企業の福利厚生等と連携した委託事業としての展開を視野に入れ、より多くの対象者に支援が届く体制を構築していくことが重要です。 あわせて、行政相談業務の補完および負担軽減にも寄与できるよう、妊娠中・産後の身体ケア BOOK の配布や身体ケア講座を継続的に実施し、切れ目のない支援につなげていくことが望ましいと考えます。	（市の考え） 協働事業としては令和7年で終了しますが、今後も資料配布等、協力できるところはしていきたいと考えます。